

## 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）	1
1. 人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部、地域協働学部、総合人間自然科学研究科	3
2. 海洋コア総合研究センター	6

注) 現況分析結果の「優れた点」及び「特色ある点」の記載は、必要最小限の書式等の統一を除き、法人から提出された現況調査表の記載を抽出したものです。



## 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等	研究活動の状況		研究成果の状況	
人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋学部、地域協働学部、総合人間自然科学研究科	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
海洋コア総合研究センター	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある



**1. 人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、  
農林海洋科学部、地域協働学部、  
総合人間自然科学研究科**

( 分析項目Ⅰ 研究活動の状況 …………… 4 )

( 分析項目Ⅱ 研究成果の状況 …………… 5 )

## 分析項目Ⅰ 研究活動の状況

### 〔判定〕 相応の質にある

### 〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

### 〔優れた点〕

- 高知大学の共同研究（民間、自治体、公的機関等）件数（受入額）は、平成27年度 84 件（139,219 千円）、平成28年度 103 件（237,245 千円）、平成29年度 140 件（190,657 千円）、平成30年度 113 件（250,316 千円）であった。受託研究（民間、自治体、公的機関等）件数（受入額）は、平成27年度 76 件（530,918 千円）、平成28年度 85 件（475,828 千円）、平成29年度 81 件（439,847 千円）、平成30年度 79 件（616,072 千円）であった。
- 高知大学の知的財産権等収入件数（金額）は、平成28年度 18 件（3,061 千円）、平成29年度 28 件（18,038 千円）、平成30年度 29 件（19,173 千円）であった。件数、金額ともに漸増している。ライセンス（特許等実施許諾契約、研究成果有体物提供契約、特許等譲渡契約等）契約数（新規＋継続）は、平成28年度 44 件、平成29年度 58 件、平成30年度 55 件で、第2期中期目標期間の平均値 31 件より増加している。

### 〔特色ある点〕

- 平成28年4月から、「高知大学地域教育研究拠点の構築：ユニバーサルデザインに基づいた教育システムモデル開発のための国際教育比較研究プロジェクト」、「黒潮圏科学に基づく総合的海洋管理研究拠点」、「地球探究拠点：海洋と陸域に記録された環境・地震・レアメタルの過去・現在・未来」、「革新的な水・バイオマス循環システムの構築」の4つの“研究拠点プロジェクト”を立ち上げ、学長裁量経費で重点的に支援している。
- 国際連合が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」への貢献として、高知大学を代表とする産学官連携チームが、「汚水処理の持続性向上に向けた高知家の挑戦～産官学による新技術開発と全国への展開～」の取組により、科学技術振興機構（JST）の令和元年度「STI for SDGs」アワード「優秀賞」を受賞した。

## 分析項目Ⅱ 研究成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

### 〔判断理由〕

学術的に卓越している研究業績、社会・経済・文化的に卓越している研究業績が、それぞれ、4件、6件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、相応の質にあると判断した。

## 2. 海洋コア総合研究センター

( 分析項目Ⅰ 研究活動の状況 ..... 7 )

( 分析項目Ⅱ 研究成果の状況 ..... 7 )



## 分析項目Ⅰ 研究活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 平成28年度から平成30年度に実施した海洋研究開発機構と共同申請の先端研究基盤共用促進事業「高知コアセンター分析装置群共用システム」により、一般企業にも門戸を開き、有償で海洋コア総合研究センターの装置を利用できる制度を構築した。
- 室戸市-高知大学包括連携協定のもと、室戸ユネスコ世界ジオパーク（以下室戸ジオパーク）推進協議会の顧問として、学術的見地からアドバイスを行うとともに、再認定現地調査や住民主体のワークショップに参加し企画・運営を支援、持続可能地域創成に協力している。  
また、室戸ジオパークセンター内に高知大学サテライトラボを設置し、次世代地域創造センターを初めとする学内外の関係者と連携した「地（知）の拠点（KICS）」や「防災教育」の活動推進を行っている。

## 分析項目Ⅱ 研究成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

学術的に優れている研究業績があり、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、相応の質にあると判断した。